

髪型を変えて入社した部下に同じ言葉をかけたのに...

管理職A「似合うね」⇒「ありがとうございます！」

管理職B「似合うね」⇒「セクハラじゃないですか？」

グレイゾーン対応のプロが現場のリアルを書籍化 販売開始

初めまして。私は、株式会社インプレッション・ラーニング（本社：東京都中央区京橋）代表取締役の藤山晴久と申します。弊社は、日本のビジネス現場にハラスメントに対する正しい理解を浸透させるため、**ハラスメントのグレイゾーンの問題とその対処法を専門に取り扱う**研修会社です。年間400件以上の企業内研修を行っております。弊社はセクハラ・パワハラのない社会を本気で目指し、日々取り組んでおります。周知活動の一環として、この度 弊社講師、鈴木瑞穂が『現場で役立つ！ハラスメントを許さない現場力と組織力』を10月4日に発売することになりましたので、お知らせ致します。



言葉を
受け取る側が
「セクハラだ！」
「パワハラだ！」
と感じたら...

セクハラ/パワハラ
確定である
は**間違いです**



グレイゾーン事例 ✓髪型を褒めたら

※画像はイメージ

「ある日、私の部署の女性部下がロングヘアをバツサリと切ってショートヘアにイメチェンしてきたんですね。朝イチにそれを見たこいつが（と言って、隣に座っていた同僚の課長を指して）『イメチェンしたねえ、似合うよ』と言ったら、その女性部下は嬉しそうに『ありがとうございます』って言ったんです。私もなかなか似合ってると思ったので、その日の午後、彼女と話す機会があったとき、『ショートヘアにしたんだ、似合ってるね』と言ったら『それってセクハラじゃないですか？』って返されてたんですね。先生、**同じ褒め言葉なのに、私の発言はセクハラになるんですかね**」（これはある管理職対象ハラスメント研修で筆者が1人の受講生から受けた質問です）※書籍より抜粋

このように一見何も問題のなさそうな日常的なコミュニケーションがハラスメントのグレイゾーンとして職場で問題となっています。

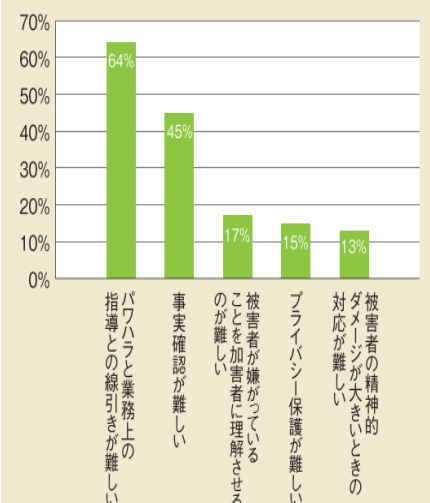
- ・職場で家族写真を机に飾るとセクハラ！？
- ・厨房で「あ、やけどするぞ！」危ない場面で叱ってもパワハラ！？
- ・芸能事務所で水着のキャンペーンポスターはセクハラ！？

これらも判断が難しいグレイゾーンの事例に当たります。

■パワハラと指導の境界線 曖昧で困る6割強

厚生労働省発表の調査報告書では『パワーハラスメントが起きた時に対応が困難と感じること』の項目に対し1位は「パワハラと業務上の指導との線引きが難しい」（64%）となっています。企業担当者も「管理職が指導に弱腰になる」（56%）、「上司と部下の深いコミュニケーションが取れなくなる」（48%）と問題意識を持っています。さらに「権利ばかり主張するものが増える」（44%）との回答からは、管理職側と若手社員の意思疎通に支障をきたし、現場での技術伝承にも悪影響を及ぼすことが懸念されます。この度の書籍が、このようなハラスメントという日本語が浸透したからこそ増えてきたグレイゾーンの悩みを減らす一助となればと考えております。

「パワーハラスメントが起きたときに対応が困難と感じること」(複数回答可)



※厚生労働省「みんなでなくそう！職場のパワーハラスメント」から抜粋

■ 現場で役立つ！ハラスメントを許さない現場力と組織力 ■

目次 序章 ハラスメント問題対応の目の付けどころ

- 事例1 勘違いストーカー（ブラックゾーン）
- 事例2 芸能事務所のキャンペーンポスター（グレーゾーン）
- 事例3 居酒屋での長時間説教（ほぼブラックゾーン）
- 事例4 うどん屋の怒鳴り声の注意（グレーゾーン）

第一章 セクハラ問題の理解

- ・セクハラ問題の概要
- ・セクハラの種類別の事例
（東京チラシ広告事件／オバサンよばわり事件／
受付嬢の逆恨み事件など）

第二章 セクハラ問題に対する現場力

- ・管理職が身につけるべきセンス
- ・スタッフ層が持つべき正しい認識と心構え

第三章 パワハラ問題の理解

- ・パワハラ問題が分かりにくい原因
- ・パワハラ問題の正しい理解

第四章 パワハラ問題に対する現場力

- ・管理職が身につけるべきセンス
- ・スタッフ層が持つべき正しい認識と心構え

第五章 ハラスメント問題に対する組織力

- ・ハラスメント法制化時代の会社の法的責務
- ・ハラスメント問題の放置の弊害
- ・組織力構築の抑えどころ
- ・組織力構築の具体的施策
- ・組織力が求められる特殊な問題



出版社：日本経済新聞出版社
発売日：2019年10月4日
著者：鈴木瑞穂
金額：本来1,600円＋税

著者プロフィール

鈴木 瑞穂（すずき みずほ）

株式会社インプレッション・ラーニング コンプライアンス・法務教育部門インストラクター。

1955年生まれ。中央大学法学部卒。朝日アーサーアンダーセン管理部長、カルティエなどラグジュアリーブランドのリシュモンジャパン管理本部総務部長などを経て、2005年、KPMG/あずさビジネススクール管理部長および講師。現在、法務・コンプライアンス分野の講師として上場企業の研修・教育で活躍中。豊富なキャリアに基づいた分かりやすい講義で好評を得ている。

主な著書：

『やさしくわかるコンプライアンス』（共著、日本実業出版社）

『現場で役立つ！セクハラ・パワハラと言わせない部下指導
グレーゾーンのさばき方』（日本経済新聞出版社）

『現場で役立つ！ハンコ・契約書・印紙のトリセツ』（日本経済新聞出版社）



大変お忙しいとは存じますが、この件につきましてご取材いただき、
報道のお力でより多くの皆さまへ届けるきっかけとさせていただければ幸いです。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレッション・ラーニング HP: <https://www.impression-ilc.jp/>
広報事務局 担当 寺尾祐子（株式会社LITA内） TEL: 080-4926-8026 MAIL: terao@lita-pr.com